第14講・大正デモクラシーの広がり

社会運動の広がりと第二次護憲運動

ポイント1　社会運動の広がり

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 労働運動

＿大正＿デモクラシーの風潮に乗り第一次世界大戦前後に活発化

↓

労働組合の結成があいつぎ，＿労働争議＿が起こる

労働争議：労働者が使用者に賃金の引き上げ・労働時間の短縮など

労働条件の改善を要求

1912年　友愛会が発足

1920年　日本初のメーデー

1921年　友愛会が日本労働総同盟に発展

② 農民運動

＿小作争議＿：小作人が地主に小作料の引き下げなどを求める

1922年　日本農民組合が発足

資料1　平塚らいてう

③ 女性運動

＿平塚らいてう＿：女性の地位向上などを求める

1911年　青鞜社を結成し，雑誌「青鞜」創刊

「元始，女性は実に太陽であった。」

1920年　市川房枝とともに新婦人協会を設立

資料2　全国水平社

④ 部落解放運動

1922年　＿全国水平社＿の結成

目的：部落差別からの解放，自由・平等を求める

水平社宣言「人の世に熱あれ，人間に光あれ。」

ポイント 2　第二次護憲運動

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

第一次世界大戦後，男子普通選挙を求める運動が広がる

しかし，初の本格的政党内閣である「平民宰相」＿原敬＿内閣（立憲政友会）は認めず

1924年	清浦奎吾内閣に対し，憲政会・立憲政友会・革新俱楽部の3党が護憲運動を起こす（＿第二次護憲運動＿） 憲政会の加藤高明が内閣を組閣 その後，8年間＿政党＿内閣が続く（憲政の常道）
1925年	日ソ基本条約　：社会主義国のソ連を承認 ＿普通選挙法＿　：満25歳以上の男子に選挙権を与え男子普通選挙が成立 ＿治安維持法＿　：社会主義者などを取りしまる

資料3　参政権の拡大

公布年	性格	有権者の資格 直接国税	有権者の資格 年齢・性別	有権者数 有権者の全人口に対する比率（カッコ内）総数
1889	制限選挙	15円以上	25歳以上の男子	1.13%（45.1万人）
1900	制限選挙	10円以上	〃	2.18%（98.3万人）
1919	制限選挙	3円以上	〃	5.50%（306.5万人）
1925	普通選挙	制限なし	〃	19.98%（1,240.9万人）
終戦 1945	普通選挙	〃	20歳以上の男女	48.65%（3,687.8万人）
2015	普通選挙	〃	18歳以上の男女	83.72%（10,609.1万人）

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1)	部落差別からの解放，自由・平等を求めて1922年に結成された組織は何か。	全国水平社
(2)	青鞜社を結成し，女性の地位向上などを求めた人物は誰か。	平塚らいてう
(3)	1925年に制定された普通選挙法で男子普通選挙において選挙権を得られるのは満何歳以上の男子か。	25歳
(4)	1925年に社会主義者などを取りしまるために作られた法律は何か。	治安維持法
(5)	小作人が地主に小作料の引き下げなどを求めた運動を何というか。	小作争議